

フランス国内 地中海フェリー乗船記

近藤貴行

2024年9月に、マルセイユからコルシカ島アジャクシオへ、さらにアジャクシオからニースへと、乗船した。行きは La Meridionale というフェリー会社の、Piana 号。帰りは、コルシカフェリーのメガ エクスプレス 4 に乗船。

アジャクシオはあまり聞かない港だが、ナポレオンが生まれた町で、2日の間に、TUI2、ボイジャー・オブ・ザ・シーズ、トムソン・クルーズの7万トン、シーボーンの4隻のクルーズ客船が寄港していた。

① 予約・乗船

予約はアゴダのようなフェリーの予約サイトを利用。予約サイトは、いろいろな航路を同時に検索できて便利だが、料金的にはホテルの予約サイトと違い、割高かも知れない。行きは、当日ターミナルで、受付・発券。しかし帰りのコルシカフェリーでは、私は自転車を持っての乗船だが、ターミナルはなく駐車場の誘導員にスマホのQRコードを見せると、端末からキャビンNOを記したチケットを渡された。したがって、予約なしの当日乗船はできないかも知れない。

車両の乗船は後部ランプから乗り、下船も後部ランプから降りる。徒歩客の乗下船も、後部ランプから行う。マルセイユでは、いろいろな航路のフェリーが停泊していたが、見る限り全てのフェリーに共通していた。

②マルセイユ発

18時15分発、到着7時の航海。港は町の中心部からすぐだ。残念ながら200室あるキャビンはいっぱい取れず、定員50人のリクライニングシート席を利用。日本と異なり大部屋はなく、キャビンかリクライニングシートどちらかしかない。リクライニングシートは、やはり快適には眠れないので、閉店後のバーのソファで寝る人や床にマットを敷いて寝る人もいた。

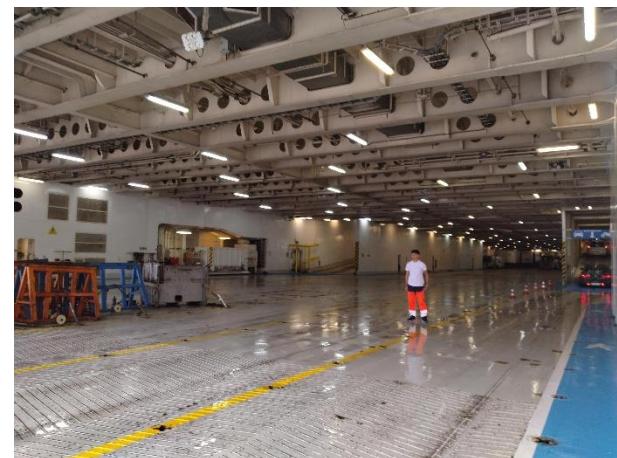
リクライニングシート席用のシャワーも、トイレ内にあったが、便器の真横のため使う気にはならない。

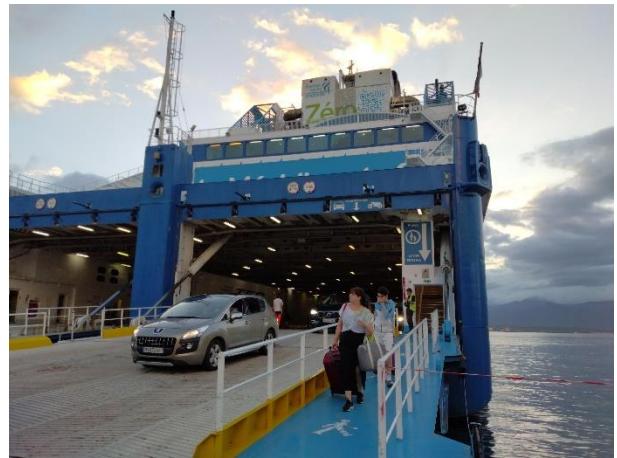
国内便なので、トラックはそこそこ乗っていた。

船は2011年建造。マルセイユのターミナルに、この船の模型が飾っていたので、フラッグシップかも知れない。エンジンの振動は、それなりに感じた。

この船は、マルセイユからアジャクシオを往復しているが、昼は港に停泊している。パブリックスペースはそれほど多くなく、アラカルトレストランとカフェテリア方式のレストラン、他にはバーがあるだけだ。カフェテリア方式のレストランを利用したが、ちょっと残念な味だった。

出港後、1時間もすると船内散策も終わってしまった。レセプションも出港するとすぐに、閉まってしまった。





③ コルシカ島アジャクシオ発

こちらは、21時30分発、ニース6時着の航海。この船は、早朝にアジャクシオに着いたあと、いざこかに出港、再び夜の20時15分に戻ってきた。驚いたことに、ニースでも新しいお客様が乗船ってきて、7時15分にはどこかへ出港して行った。

アジャクシオ港では、フェリーとクルーズ客船が同じ港を使用しており、前日7万トンの客船が停泊していた岸壁に、今回乗船したメガ エクスプレス 4が入って来た。なお、この会社の船の船籍は、ジエノバになっている。

また、マルセイユ～アジャクシオ便と異なり、トラックは少ない。

この船は、残念ながら船内に船の要目の表示がなく、会社のHPでも見つけられなかったので、詳細は不明だが、かなり古い船は確かである。ただメンテは行き届いており、気持ちよく過ごすことができた。しかし、エンジンの振動はかなりひどい。

トラックが少なくマイカー客を中心のせいだろか、パブリックスペースはかなり充実していた。パブリックスペース自体は、8階7階の2フロアだけなのだが、レストランやバーもかなり多く、メニューも充実していた。残念ながら、21時30年出港で早い店は22時閉店なので、ゆっくりは出来ない。

また昼便用に、オープンデッキにはプールやジャグジーもあつた。

キャビンは、フルマンベット使用で4人定員の部屋を利用。ワンナイトでは、充分な広さだ。

このように、快適に過ごすことが出来る船だったので、21時30分発6時着という、あわただしいダイヤが残念だった。

